

お芋ほりに行きたいな

対象児:3歳児ゆり組

作成者:八木京香

作成日:2024年11月12日

ねらい:友達と一緒に遊びを楽しみながら興味を広げていく。



振り返り:年中さんや年長さんが芋堀りに行ったことを知って、ゆり組さんは「芋ほりってどこまで行くの?」「年少さんはいつ行くの?」と気になっている姿が見られたので、芋ほりで実際に掘ってくれたさつまいもを見たり、図鑑や絵本を見てみんなで興味や関心を広げていきました。今年のさつまいもは細長い形の物が多かったようで「お芋長いね」「土がついているね」という会話が子ども達から聞かれました。「さつまいもはどんな色をしていて、どんな味がする?どこにあるかな?」という声掛けに「紫色をしているよ」「食べたら甘いよね」「畑の中にある!」とさつまいもについてよく分かっていました。給食の時にも年中、年長さんが掘ってくれたさつまいもが給食に入っていることをみんなに伝えると「おいしいね」「おかわりする」という声が聞かれて嬉しく思いました。このように子ども達の興味・関心が食育に繋がり、いろいろな食材があることを知っておいしく食べることが出来たと思います。また、年少さんはまださつまいも堀りに行けない為、教室でさつまいも堀りを体験しました。さつまいもには、つるがあることも知り、そこを引っ張ると芋が抜けるということも学んだようです。11月の誕生日会で先生達の出し物でしていたことの真似をしながら「うんとこしょ、どっこいしょ」と声を揃えて楽しむ姿が見られました。さつまいも堀りは、年中さんになったら行けることを伝えると、今から楽しみにしているゆり組さんの姿があります。子ども達と楽しいという体験と一緒にたくさんしていけるような保育を心掛けていきたいと思っています。(健康な心と体、協同性、社会生活との関わり、数量・図形・文字等への関心、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)